

令和5年和泉市教育委員会第9回定例会

日 時：令和5年9月21日(木) 午後3時00分から
場 所：和泉市役所3階 3A・3B会議室

出席者

教育委員会

教育長	小川 秀幸
教育長職務代理者	深堀 知子
委員	酉家 章弘
委員	久米 ひろみ
委員	中西 正人
委員	小谷 美樹

事務局

教育次長兼教育・こども部長 (教育・こども部)	土本 修一
教育指導監	上田 茂幸
教育・こども部次長兼教育総務課長	鍛冶 公哉
学校園管理室長	佐々木 敦
学校教育室長	阪下 誠
こども未来室長	西角 雅士
学校教育室教育指導担当課長	仲谷 正太郎
学校教育室指導担当参事	岩井 靖久
教育総務課長補佐	大西 薫
教育総務課企画係長	小路 佑樹
教育総務課総務係 (生涯学習部)	西川 世理奈
生涯学習部長	辻 公伸
生涯学習部次長	前田 志織
生涯学習推進室長	西田 尚司
生涯学習推進室スポーツ振興担当課長	山本 国央

1. 開 会
2. 会議録署名委員の指名について
3. 教育長の報告
4. 審議事項
なし
5. 報告事項
 - (1) (仮称) 槇尾学園進捗状況について
 - (2) 令和6年度和泉市立南横山小学校小規模特認校児童募集について
 - (3) 米国ブルーミントン市への和泉市長公式訪問団及び和泉市交換留学生代表団の派遣報告について
 - (4) 和泉市スポーツ競技に関する懸垂幕掲出要綱の制定について
 - (5) 教育委員会事務局としての取組みについて
(教育・こども部：DX・効率化 生涯学習部：人材育成)
6. 行事等のご案内
 - (1) 令和5年度和泉市小学校陸上競技大会開催案内について
 - (2) 令和5年度和泉市小学校・中学校・義務教育学校連合音楽会の開催について
 - (3) 第71回信太山クロスカントリー大会 in 大阪和泉の開催について
7. その他
8. 閉会

<p>小川教育長</p>	<p>定刻となりましたので、令和 5 年和泉市教育委員会第 9 回定例会を開会します。</p> <p>第 8 回定例会の会議録ですが、事前に配付し、ご確認いただいておりますが、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p> <p>ご異議ないようですので、第 8 回定例会の会議録について承認することとします。</p> <p>今回の会議録署名委員は、深堀職務代理者と中西委員を指名しますので、よろしくをお願いします。</p> <p>次に、資料「教育長の報告」をご覧ください。令和 5 年 8 月 24 日から 9 月 20 日までの主な活動を掲載しています。</p> <p>何かご質問等ございませんか。</p> <p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>本日は、報告事項 5 件、行事等のご案内 3 件です。</p> <p>報告事項 1「(仮称) 槇尾学園進捗状況について」と報告事項 2「令和 6 年度和泉市立南横山小学校小規模特認校児童募集について」は関連する案件ですので、事務局（教育総務課・学校教育室）から一括して説明願います。</p>
<p>岩井参事</p>	<p>教育総務課の岩井です。</p> <p>(仮称) 槇尾学園進捗状況について、7 月 30 日に開催した学園説明会には 93 家庭 270 人の参加がありました。令和 7 年度に 1 年生となるお子さんが 52 人と最も多く、他の学年は記載の通りです。説明会後のアンケートでは、7 割の方が槇尾学園の「学習環境」、「少人数学級」について関心を持たれていることが確認され、「(仮称) 槇尾学園に通わせたい」の質問には「はい」58%、「どちらかといえばはい」34%と 92%の肯定的回答を得る結果となっています。</p> <p>児童生徒募集については、各学年 46 人を定員の上限とし、その 46 人から地元児童生徒、現南横山小学校特認児童を除いた人数を今年度から先行して申込を受付します。現在、第 1 期募集として 9 月 29 日まで受け付けています。</p> <p>応募状況の表、1 年生の枠をご覧ください。定員の 46 人の内、地元児童を除いた 29 人の募集に対して 9 月 13 日現在 49 人の応募があり、定員を上回る状況となっています。</p> <p>次に 2 年生ですが、定員の 46 人に対し 7 人を募集しています。この人数は、南横山小学校の令和 6 年度 1 年生の募集人数 17 人を除いた人数です。槇尾学園として募集している 7 人と、南横山小学校として募集する 17 人を合わせた 24 人が槇尾学園の特認の人数となりますが、現在 18 人の応募があるので、募集人数の残りは 6 人です。他の 3~9 年生についても同様の見方となります。</p> <p>今後は、10 月中旬に応募者と面談を行い、就学要件を満たした方について、10 月下旬~11 月上旬を目途に、就学優先順位を付すための抽選を行い、「(仮称) 槇尾学園就学予定者名簿」へ登載します。第 1 期の受付状況と令和 6 年度向け</p>

	<p>南横山小学校特認の募集により、第 2 期の募集人数が決定し、以降、同様の手順を進めますが、最終的な就学者数の確定は令和 6 年 9 月末の槇尾校区への転出入の確定後とします。</p> <p>施設整備については、7 月 7 日に体育館が完成し、すでに使用を始めています。現在、旧体育館を除却し新校舎を建設中であり、令和 6 年 7 月の完成に向け工事の遅れなどなく進んでいます。</p> <p>アフタースクールについては、放課後の過ごし方の充実、特認校の魅力のひとつとして、付加価値の高い有償プログラムの導入に向けた調整を進めています。槇尾学園の教育の特色やこれまでのアンケートなどから、民間事業者による英語教育のプログラムを提供できるよう進めています。1 日 2 コマ、週 2 日の計 4 コマをレベル別で実施できるよう調整しています。</p> <p>最後に、槇尾学園開校後の横山小学校、南横山小学校の活用です。</p> <p>まず、横山小学校については、校舎等を除却の上、売却することを基本としつつ、南部地域の定住・活性化の観点から、市長部局において民間利便施設、住宅、広場機能等幅広く様々な活用について、民間事業者の提案も調査の上、効果的な活用を検討していきます。年度ごとのスケジュールは記載のとおりです。南横山小学校については、槇尾学園の教育活動の場として利用するほか、市内各校も利用できる、地域とも連携した豊かな自然を活かした教育活動の場として活用します。</p> <p>なお、当面は、既存校舎、体育館を活用することとし、築 60 年となる令和 13 年度を意識し、令和 10 年度頃を目途に、この間の利用状況に鑑みた教育活動の場としての活用方法を検討します。</p> <p>続いて、報告事項 2 の南横山小学校小規模特認校について報告します。</p> <p>令和 6 年度に向け、児童の募集を行います。詳細については配付資料でご確認をお願いします。新 4 年生及び 6 年生は、就学定員 20 名に達しているため、次年度募集は行いません。なお、令和 6 年度に南横山小学校に入学した場合、令和 7 年度より義務教育学校「(仮称) 槇尾学園」へ就学することになります。10 月 29 日に「学校見学会・説明会」を開催し、このことを含めて説明予定です。</p>
小川教育長	ただいま説明が終わりましたが、何かご質問等ございませんか。
小谷委員	定員を超えて転入してきた児童生徒の対応はどうなりますか。
岩井参事	転入した児童生徒については、定員が超えている場合でも受け入れますが、当該校区は市街化調整区域であり、人口流入はさほど多くないと見通しています。
小川教育長	<p>他にご質問等ございませんか。</p> <p>続いて、報告事項 3「米国ブルーミントン市への和泉市長公式訪問団及び和泉市交換留学生代表団の派遣報告について」、事務局（生涯学習推進室）から説明願います。</p>

辻部長	<p>生涯学習部の辻です。</p> <p>アメリカ合衆国・ミネソタ州・ブルーミントン市とは、姉妹都市提携締結 30 周年にあたり、令和 5 年 8 月 11 日から 8 月 16 日までの 6 日間、和泉市長公式訪問団、私も含めて友好職員として参加しました。派遣メンバーは資料に記載の 6 名です。併せて、8 月 11 日から 8 月 21 日までの 11 日間、交換学生代表団として中学生 6 名を派遣しました。市長公式訪問団の詳細については、訪問団の記録をご参照していただくとともに、交換学生については追って報告書を作成し、改めて報告します。</p>
小川教育長	何かご質問等ございませんか。
小谷委員	会計報告はありますか。
辻部長	<p>市予算の範囲内に収まっていますので、市予算を年度末に締め、決算とすることで整理します。記念品については和泉市の国際交流協会からお渡しし、別の予算で執行しています。</p>
小川教育長	<p>他にご質問等ございませんか。</p> <p>続いて、報告事項 4「和泉市スポーツ競技に関する懸垂幕掲出要綱の制定について」、事務局（生涯学習推進室）から説明願います。</p>
山本課長	<p>生涯学習推進室の山本です。</p> <p>制定の理由は、スポーツ競技において、他の模範となる活躍をした個人又は団体に対し、その功績を称えるとともに、市民に広く周知し、スポーツの振興に資するため、懸垂幕を掲出するにあたり必要な事項を定めるものです。</p> <p>主な制定内容として、趣旨、対象、掲出基準、掲出の制限、懸垂幕の仕様等、掲出の申請、掲示の許可について必要な事項を定めており、施行日は令和 5 年 9 月 5 日です。</p>
小川教育長	何かご質問等ございませんか。
酉家委員	これまでは要綱がなかったのですか。
山本課長	市として庁舎の要綱があり、各課が認めたものは掲出できるとしているのですが、スポーツ担当としてルールを明確化しました。
酉家委員	3 条の 2 で、「費用については申請者の負担とする」となっていますが、申請者は誰を指すのですか。
山本課長	全国大会に出られた方や、その後援会などを想定しています。

西家委員	<p>団体がない、もしくは団体の小さい競技者は、費用面で懸垂幕を諦めるケースも考えられるので、検討が必要ではないでしょうか。</p>
山本課長	<p>差別化を図るのは難しく、現状は、市が懸垂幕の作成費用を負担するのはオリンピック以上の大会出場選手としています。</p>
西家委員	<p>市が費用を負担することで、競技者や関係者のモチベーションが上がればいいと思います。</p>
小川教育長	<p>市に懸垂幕掲出の申し出があるものは、圧倒的にスポーツ競技に関する場合が多く、個人種目に関しても多くの方が応援されているのが現状です。</p>
久米委員	<p>スポーツ競技以外の、例えば、ピアノなど文化的な分野で活躍された方も適用されるのでしょうか。</p>
西田室長	<p>明確化が難しく、一部の人で開催しているものを全国大会と呼んでいる場合もありますので、事例に応じて、個々に判断する方向で考えています。</p>
小川教育長	<p>他にご質問等ございませんか。</p> <p>続いて、報告事項5「教育委員会事務局としての取組みについて」、事務局（教育・こども部、生涯学習部）から説明願います。</p>
土本教育次長	<p>教育・こども部の土本です。</p> <p>教育・こども部では時間外勤務が多く、DX 効率化を通じて時間外勤務を減らそうという取組みです。今回は、DX ということで変革をテーマに、どうありたいか、その為に何をどうすべきかについて、職員から提案されたものの一覧になります。一方で、令和 8 年度に全国統一基準の基幹系システムが稼働することから、基幹系システムに付随するシステムは、基幹系に合わせ、令和 7 年度までに検討することとしました。担当者任せになっていた日々の事務処理について、組織的な改善を行なうところから始めています。</p> <p>本来の DX という視点でみると、少し小さな取組みですが、本来の DX を見据えながら身近な業務改善を中心にやろうという取組みで、資料の 20 項目になります。なお、予算の欄には未定や積算中のものも含まれています。今後、それぞれの業務内容を精査し、予算が必要なものは令和 6 年度予算の要求を行ったうえで、執行していきたいと考えています。</p>
辻部長	<p>生涯学習部の辻です。</p> <p>生涯学習部では、人材育成を大きな課題であると位置付け、今年度から部独自の取組みとしています。人材育成について意識的に取り組むよう、部では新規採用 3 年以内の職員を中心に実施しています。</p> <p>具体的には、職員ごとに「人材育成カルテ」を作っています。新採職員の得</p>

	<p>意分野や課題を係長級以上から部長までの職員が記載するのが、この人材育成カルテです。その職員に 2 年後にどのような職員になってほしいか、どのような役割を果たしてほしいかも含め、おおよそ 6 か月間かけて方針を作っていく形にしています。毎月 1 回、所属係長から部長までのメンバーで人材育成会議を開催していますが、今月で最終的な方針を明確にし、以後、毎月状況を確認します。</p>
中西委員	<p>新採職員の育成は、和泉市の統一方針を基に取り組むのが適している気がしますが、生涯学習部が先駆けて取り組むのですか。</p>
辻部長	<p>市全体の取組みを基に、生涯学習部ではさらに細かな取組みをやってみようというものです。</p>
小川教育長	<p>大きな方針は市全体であるのですが、部でそれぞれの特徴を出して行う取組みとして、生涯学習部から水平展開という方向で、部長会等でも共有しています。</p>
酉家委員	<p>毎月行う職員育成会議の議事録は残していますか。</p>
辻部長	<p>人材育成カルテを作成し、記録しています。</p>
酉家委員	<p>得意分野や課題などの仕事に対することだけでなく、人間性や生活環境なども仕事に影響すると思います。共有文書にするのは難しいですが、そのような面も大事にしてほしいと感じました。</p>
辻部長	<p>ご指摘のとおりと思いますので、しっかり取り組んでいきます。</p>
酉家委員	<p>人材評価や育成においては、両方に利害関係のない、本人と上司以外の第三者のほうが上手くいくという話を聞いたことがあるので、市の中では難しいかもしれませんが一度考えていただければと思います。</p>
辻部長	<p>参考にさせていただきます。</p>
小川教育長	<p>職員の育成カルテは直属の係長などが作成するので、作り方に個性が出ることもあり、評価の仕方についても育成しないといけないと考えています。今回、試行的に取り組む、今後ブラッシュアップしていきますので、お気付きの点などありましたらご意見をお願いします。</p>
小谷委員	<p>育成者の評価と、本人の目標や思いを対比できる形にはなっているのでしょうか。</p>

辻部長	採用後 4 月に、どのようなことを感じているかレポートを書いてもらっていますが、そこまではできていません。今後、我々が取り組んでいる人材育成を、どのように本人に伝えようかというところについて、ご教示いただければと思います。
小谷委員	企業の事例ですと、新採職員が、今年の目標や自分がどうなりたいかなどを書きます。その後、上司と一対一の面談をして新採職員、上司それぞれの立場で目標や評価を記録することで、上司の育成への取組みが新採職員にも伝わる。一対一の面談は 3 か月に 1 回ぐらいですが、取り組む目標などを一緒に決めていくという点がいいと思います。人材育成カルテも、本人が目標などを記録できる欄があった方がいいと思いました。
土本教育次長	補足しますが、市で取り組んでいる人事評価制度は、年度当初に、本人が何をどの程度までやっていくのか、具体的に何項目か目標を挙げます。その上で上司と面談を行い、目標を設定します。期中には面談で状況確認や目標の調整などを行い、最終、年度末に面談のうえ評価をします。評価は業績評価と能力評価という 2 つの側面で行っており、生涯学習部ではそれを補完する形で本人のスキルを高めていく取組みという位置づけです。
小谷委員	追加の提案ですが、上司がどれだけ育成できたのかについて、もう一段上の上司が評価することもいいかと思いました。
久米委員	新規採用後、所属の中で一番年の近い先輩職員が指導する指導員制度のようなものはあるのですか。
土本教育次長	本市では、メンター・メンティ制度があり、新採職員には、採用 3 年から 4 年目程度の違う部署の職員がメンターとしてつき、仕事の状況や人間関係について第三者的にアドバイスしています。
小川教育長	先ほど小谷委員からありました、民間企業等の知見も活用していきたいので、差し支えない範囲でご教示をお願いします。 他にございませんか。
深堀職務代理	教育・こども部の取組みについて、今まで紙上で行っていた業務をパソコン上でできるようにするだけでなく、業務自体が必要かどうかという視点でもご検討いただければと思います。
土本教育次長	そのような視点でも取り組んでいきます。
小川教育長	今回は事務局の取組報告ですが、学校、園も課題として取り組んでいますので、その進捗状況等も追って報告します。

山本課長	<p>報告事項は以上です。 続いて行事等のご案内に移ります。 事前に資料を配付していますので、説明は省略します。事務局で補足説明等があればお願いします。</p> <p>生涯学習推進室の山本です。 第 71 回信太山クロスカントリー大会 in 大阪和泉を、今年度は令和 6 年 1 月 14 日（日曜日）に自衛隊信太山演習場にて開催する予定で、10 月 31 日まで参加者を募集しており、インターネットで申し込みができます。今年度から、和泉市外の方に関しては、ふるさと納税の返礼品にもなっています。</p>
小川教育長	<p>他に事務局より何か連絡事項等ありましたらお願いします。</p>
前田次長	<p>生涯学習部の前田です。 久保惣記念美術館では 9 月 17 日から 11 月 12 日まで、『特別展 宗達-物語の風景 源氏・伊勢・西行-』を開催しています。是非美術館へお越しください。なお、特別展終了後の 11 月 13 日から 3 月末までは、施設や設備改修工事のため休館とします。</p>
小川教育長	<p>他にございませんか。 以上をもちまして、本日の定例会は終了いたします。</p>

令和5年和泉市教育委員会第9回定例会の様子



傍聴は当日受付しています。皆様の傍聴をお待ちしております。

傍聴方法：当日受付

開会時刻15分前から先着順で入室可能ですが、その時点で定員を超える場合は抽選とします。(定員数は会場により異なります。)

ただし、人事に関する事など非公開となる案件は傍聴できません。